

【中学校 国語】

<p>国語 A (知識)</p>	<p>■「国語 A 知識」については、定着が図られています。</p> <p>□「話すこと・聞くこと」については、定着が図られています。</p> <p>□「書くこと」については、定着が図られています。</p> <p>□「読むこと」については、定着が図られています。</p> <p>□「言語事項」については、定着が図られています。</p>	<p>国語 B (活用)</p>	<p>■「国語 B 活用」については、概ね定着が図られています。</p> <p>□「話すこと・聞くこと」については、改善が必要です。</p> <p>□「書くこと」については、改善が必要です。</p> <p>□「読むこと」については、定着が図られています。</p> <p>□「言語事項」については、今回出題がありませんでした。</p>
<p>課 題</p>	<p>◇ 伝えるべき内容について整理して書くことや、文脈に即して漢字を正しく読むことなどは、大部分の生徒ができていますが、次のことなどに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ること ・文章の展開に即して内容を捉え、登場人物の心情について考えること 	<p>課 題</p>	<p>◇ 文脈の中における語句の意味を的確に捉えることや、資料の表現の仕方を捉えることなどは、大部分の生徒ができていますが、次のことなどに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれている情報を的確に関連付けて読むこと ・資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明すること ・表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること



学校における学習活動の改善方策例

- スピーチなどの言語活動を通して、考えや立場を明確にして分かりやすく伝えたり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。
- 文学的文章を読む際に、登場人物の言動や心情が変化するきっかけに着目させる。
- 具体的な相手や目的に応じて、簡潔な内容で書いたり、適切な表現を工夫する。
- 類義語を取り上げて相手や場面に応じて使い分ける。
- 身近にあるパンフレットや広告などを用いて、そこに書かれている内容を理解したり、比較したり、関連付けたりして自分なりの意見や感想をもつ。
- 収集した情報を目的に応じて中心の部分と付加的な部分に整理し、説明するための資料を作る。
- 文章の表現の仕方について考えたことを意見交流し、互いの考えを深めたり、着目した表現を参考にして自分の表現に生かしたりする。

学校の学習を生かした家庭学習の参考例

- ※ 簡潔に用件をメモしたり、授業を振り返ってもう一度確認する内容を書き留めましょう。
- ※ 時間を決めて感想を書いたり、マス目を使って決めた字数に要点をまとめましょう。
- ※ 本を読んで、使ってみたい表現を書き抜いたり、その意味を調べて例文を作ったりしましょう。
- ※ 物語を読んで、登場人物の性格を書き出したり、人物相互の関係を図にしたりして、内容を理解するための工夫をしてみましょう。